

令和6年5月24日（金）に、艦船技術会懇親会を開催しました。

本年は、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変更になって1年が経過した時期の開催となり、当日は、現役会員26名、OB会員48名の計74名の参加を得ることができました。

開会にあたり、川原会長による挨拶では、艦船造修業務に携わる民間人の会員募集について触れ、従前より幅広い方々の参加を期待することや、本年度が技術会役員の改選時期であることについて発言がありました。

続いて、現役会員を代表し、南関東防衛局調達部の鷹尾1佐より、現在の監督検査の現状についてお話を賜りました。

懇親会は現役会員参加者で最も若い補給本部、廣田3佐による発声で高らかに杯が上がり、スタートしました。

1年ぶりの懇親会でもあり、多くの参加者による会話の輪が会場のあちこちに広がりました。

途中、ご芳志の紹介、新OB会員（1名）の紹介、残念ながらご逝去された会員お二方（現役会員、OB会員各1名）の紹介、そして前回懇親会の後、叙勲の栄を浴された方々の紹介が行われ、叙勲受章者を代表し、柴野OBから、受章に際してのお言葉を頂きました。

また、現役会員の方を代表し、浅見艦船・武器課長及び赤尾技術評価開発隊司令のお二方から機関、部隊の近況についてお話をいただきました。お話を通じ、海幕や補本等機関で勤務する現役会員の皆様の多忙さや、組織改編により旧艦艇開発隊実験部を主体とする技術評価開発隊の試験業務への意気込みを知ることができました。

閉会の前には穂垣副会長より懇親会参加に謝意を表されるとともに、会員の皆様のご健康、ご多幸と会の発展を祈念する中締めのご挨拶を頂きました。

その後は、参加者全員での集合写真撮影となり、撮影終了後、懇親会は閉会となりました。

令和7年の艦船技術会懇親会は、令和7(2025)年5月23日の開催を計画しておりますので、次回も多くの会員の皆様にご参加いただけることを楽しみにしております。

令和6年度艦船技術会懇親会担当

本山、山越